



Pick Up-1

広報解禁1カ月足らずで内々定率「53.7%」、 理系は6割超す「就活終了」2割近くに（学情）

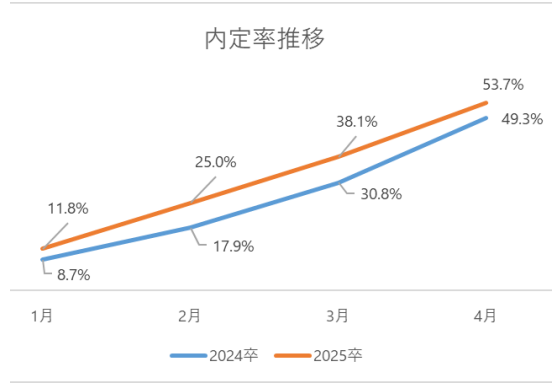


3月末時点での内定率が50%を越えました。

就職みらい研究所が実施している同様の調査でも、3月18日で約50%の内定率となっており、活動に対して積極的な層は半数以上が内定取得となっています。さらに、学情社の調査データでは既に20%の学生が内定を取得し、活動を終わっています。

2024卒までは、内定取得時期のピークは4月でしたが、2025卒は年間を通じて3月が最も高くなる可能性があります。

毎年続く採用活動・就職活動「前倒し」の傾向、2025卒は過去最高の波となっています。



※出典：学情社のデータを元にTalkCampにて加工・編集

Pick Up-2

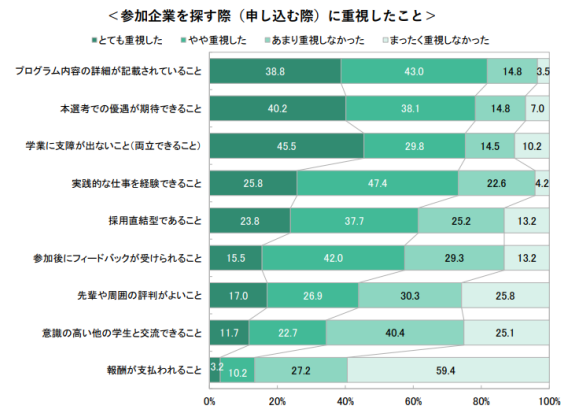
インターンシップ等に関する特別調査（ディスコ）



前倒しに大きな影響があるインターンシップ。2025卒の動向データがリリースされています。

- 1) サマーの参加率が上昇し、秋冬は減少
- 2) タイプ1のインターンも半数程度は対面実施
- 3) タイプ3のインターンへの参加率は文系では9.9%、理系では21%
- 4) 学生のインターン参加理由として本選考優遇への期待が大きい

Pick Up-3にもありますが、4点目は大手志向の強まりと合わせて理解する必要がありそうです。



※出典：キャリアタス就活 学生モニター2025 調査結果（2024年4月発行）

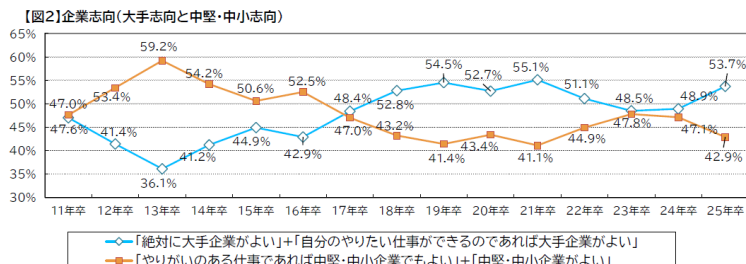
Pick Up-3

大手企業志向が53.7%で前年比4.8pt 増 2年ぶりに半数を超える（マイナビ）



学生の就職意識調査で大手志向の高まりが明らかになりました。さらに、以下の三点も注視すべきポイントです。

- 1) 企業選択のポイントは「安定している」が最多。
- 2) 「給料が良い会社」も3年連続増加。
- 3) 行きたくない会社は「転勤の多い会社」が引き続き増加



※出典：マイナビ2025年卒大学生就職意識調査（2024年4月発行）